

障害者スポーツ団体ニーズ調査結果(ニーズ分類別)

支援ニーズ内容	団体名	番号
日常活動支援 (48団体)	(一社)日本車いすバスケットボール連盟	1
	(一社)日本身体障がい者水泳連盟	2
	日本車いすツインバスケットボール連盟	3
	(一社)日本パラ陸上競技連盟	4
	(特非)日本身体障害者野球連盟	5
	(一社)日本パラアイスホッケー協会	6
	(一社)日本車椅子ソフトボール協会	7
	(特非)日本車いすフェンシング協会	8
	(一社)日本車椅子ハンドボール連盟	9
	(一社)日本車いすカーリング協会	10
	(特非)日本車いすダンススポーツ連盟	11
	(一社)日本ウィルチェアラグビー連盟	12
	(一社)日本パラバレーボール協会	13
	(一社)日本車いすテニス協会	14
	(認定特非)ローンボウルズ日本	15
	(一社)日本電動車椅子サッカー協会	16
	(特非)日本車椅子ビリヤード協会	17
	(特非)日本パラ・パワーリフティング連盟	18
	(特非)日本ブラインドマラソン協会	19
	日本ブラインドテニス連盟	20
	(特非)日本視覚障害ゴルフフェーズ協会	21
	(一社)日本ゴルフボール協会	22
	(特非)日本ブラインドサッカー協会	23
	(一社)日本視覚障害者ボウリング協会	24
	日本視覚障害者卓球連盟	25
	(一財)全日本ろうあ連盟	26
	(特非)日本聴覚障がい者ラグビーフットボール連盟	27
	(一社)日本ろう武道連盟	28
	(一社)日本ろう自転車競技協会	29
	(一社)日本ろう者サッカー協会	30
	(一社)日本ろう者スキー協会	31
	(一社)日本デフバレーボール協会	32
	(一社)日本ろう者水泳協会	33
	(特非)日本知的障がい者サッカー連盟	34
	(一社)日本知的障害者水泳連盟	35
	(一社)日本FIDバスケットボール連盟	36
	(公財)スペシャルオリンピックス日本	37
	(公社)日本精神保健福祉連盟	38
	(特非)日本ソーシャルフットボール協会	39
	(特非)日本知的障がい者陸上競技連盟	40
	(特非)日本障害者セーリング協会	41
	(一社)日本障害者カヌー協会	42
	日本障害者シンクロナイズドスイミング協会	43
	日本障害者フライングディスク連盟	44
	(一社)全日本テコンドー協会	45
	(一社)スポーツ吹矢協会	46
	(公社)日本トライアスロン連合	47
	日本卓球バレー連盟	48

支援ニーズ内容	団体名	番号
大会イベント 支援 (19団体)	(一社)日本身体障がい者水泳連盟	2
	日本車いすツインバスケットボール連盟	3
	(一社)日本パラ陸上競技連盟	4
	(特非)日本身体障害者野球連盟	5
	(一社)日本パラアイスホッケー協会	6
	(一社)日本車椅子ハンドボール連盟	9
	(一社)日本ウィルチェアラグビー連盟	12
	(一社)日本車いすテニス協会	14
	(認定特非)ローンボウルズ日本	15
	(一社)日本電動車椅子サッカー協会	16
	(特非)日本ブラインドマラソン協会	18
	(特非)日本パラ・パワーリフティング連盟	20
	日本ブラインドテニス連盟	26
	(一財)全日本ろうあ連盟	31
	(一社)日本ろう者スキー協会	32
	(一社)日本デフバレーボール協会	37
	(公財)スペシャルオリンピックス日本	44
	日本障害者フライングディスク連盟	48
	日本卓球バレー連盟	
選手支援 (7団体)	(特非)日本パラ・パワーリフティング連盟	18
	日本ブラインドテニス連盟	20
	(一社)日本ろう者スキー協会	31
	(一社)日本知的障害者水泳連盟	35
	(一社)日本FIDバスケットボール連盟	36
	(特非)日本知的障がい者陸上競技連盟	40
	(一社)全日本テコンドー協会	45

障害者スポーツ団体ニーズ調査結果(ニーズ分類別)

支援ニーズ内容	団体名	番号
事務局体制 支援 (31団体)	(一社)日本車いすバスケットボール連盟	1
	(一社)日本身体障がい者水泳連盟	2
	日本車いすツインバスケットボール連盟	3
	(一社)日本パラ陸上競技連盟	4
	(一社)日本車椅子ソフトボール協会	7
	(特非)日本車いすフェンシング協会	8
	(一社)日本車いすカーリング協会	10
	(特非)日本車いすダンススポーツ連盟	11
	(一社)日本ウィルチェアーラグビー連盟	12
	(一社)日本パラバレーボール協会	13
	(一社)日本電動車椅子サッカー協会	16
	(特非)日本ブラインドマラソン協会	19
	日本ブラインドテニス連盟	20
	(特非)日本視覚障害ゴルフフェーズ協会	21
	(一社)日本ゴールボール協会	22
	(特非)日本ブラインドサッカー協会	23
	(一社)日本視覚障害者ボウリング協会	24
	(一社)日本ろう武道連盟	28
	(一社)日本ろう自転車競技協会	29
	(一社)日本ろう者サッカー協会	30
	(一社)日本ろう者スキー協会	31
	(一社)日本デフバレーボール協会	32
	(一社)日本ろう者水泳協会	33
	(特非)日本知的障がい者サッカー連盟	34
	(一社)日本FIDバスケットボール連盟	36
	(公財)スペシャルオリンピックス日本	37
	(特非)日本ソーシャルフットボール協会	39
	(特非)日本知的障がい者陸上競技連盟	40
	日本障害者フライングディスク連盟	44
	(一社)全日本テコンドー協会	45
	日本卓球バレー連盟	48

支援ニーズ内容	団体名	番号
広報支援 (22団体)	日本車いすツインバスケットボール連盟	3
	(特非)日本身体障害者野球連盟	5
	(一社)日本パラアイスホッケー協会	6
	(一社)日本車椅子ハンドボール連盟	9
	(一社)日本車いすカーリング協会	10
	(特非)日本車いすダンススポーツ連盟	11
	(一社)日本ウィルチェアーラグビー連盟	12
	(一社)日本車いすテニス協会	14
	(認定特非)ローンボウルズ日本	15
	(特非)日本車椅子ビリヤード協会	16
	(特非)日本ブラインドサッカー協会	22
	(一社)全日本視覚障害者ボウリング協会	23
	(特非)日本聴覚障がい者ラグビーフットボール連盟	26
	(一社)日本ろう武道連盟	27
	(一社)日本ろう自転車競技協会	28
	(一社)日本ろう者サッカー協会	29
	(一社)日本ろう者スキー協会	30
	(一社)日本デフバレーボール協会	31
	(一社)日本知的障害者水泳連盟	34
	(公財)スペシャルオリンピックス日本	36
	(一社)全日本テコンドー協会	43
	日本卓球バレー連盟	46
その他	(特非)日本ブラインドサッカー協会 (企業研修導入による支援、業務提携)	22

障害者スポーツ団体ニーズ調査結果(団体別)

番号	団体名	ニーズ・団体運営課題概要	所在地 連絡先(代表者等)	URL 検索キーワード
1	一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー等企業からの支援 ・代表強化のためのコーチ・スタッフの待遇改善 ・海外遠征の増加 ・長期に利用できる強化施設の早期整備、拠点整備費の充実 	東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4F(パラサポ内) 03-6229-5434	http://www.jwbf.gr.jp/ 車いすバスケット
2	一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・年間金銭で7000万円 ・年間10万円くらいの少額の「賛助会員」制度を充実したい ・企業からの支援は煩雑な事務手続きがなく、一番有効に使える、年度当初に受領できるので運転資金も確保できる。 ・企業の協賛メニューは、冠大会(600万円～700万円)、裾野を広げるための冠水泳教室(50万円～100万円)、冠指導者研修会(100万円～200万円)など。 ・人的資源の確保。学校教職員・行政職員・企業などの派遣があれば望ましい。 	兵庫県神戸市中央区八幡通 4-1-15成樹ビル 303 03-6229-5424 (パラサポセンター内)	http://new.paraswim.jp/ 障害者水泳
3	日本車いすツインバスケットボール連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・連盟運営費及び日本選手権大会運営費の一部助成 ・大会のスポンサーや連盟運営費(事務局費)の助成 ・広報活動及び教育現場などでの活動 	愛知県名古屋市守山区川上町27早川方 052-700-1921	http://www.jwtbf.com/ ツインバスケット
4	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・連盟へのスポンサー料 ・大会に関するスポンサー料 ・次代を担う発掘・育成などの事業展開を積極的に行っていけるよう、事業スポンサー ・当連盟内の5委員会への事業スポンサー料 ・1社30万円が最低ライン ・事務局の人員不足とその雇用財源、また、連盟内の5委員会の活動経費が不足しているので、財源の確保が課題。 	大阪府大阪市住吉区長居 2-1-10 パークサイド長居106号 06-6654-5367	http://www.jaafd.org/ パラ陸上
5	特定非営利活動法人日本身体障害者野球連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・各大会では交通費や宿泊経費が高額になりますので金銭的支援があれば助かります。 ・財政基盤が弱いことです。会議等も交通費や宿泊費等は自己負担です。障害のため未就労者もおられ会費を上げることはできません。 ・メディアに取りあげてもらい広く国民の皆様知ってもらうこと。CM、東京パラでのエキシビョンなど。 	兵庫県神戸市垂水区桃山台 5-2-4 078-752-4100	http://www.portnet.ne.jp/~ciwasa30/ 障害者野球

障害者スポーツ団体ニーズ調査結果(団体別)

番号	団体名	ニーズ・団体運営課題概要	所在地 連絡先(代表者等)	URL 検索キーワード
6	一般社団法人日本パラアイスホッケー協会	<ul style="list-style-type: none"> ・大会協賛をお願いできる企業を複数社 ・競技団体運営費や新人育成などに充てられる寄付金や補助金 ・一回の海外遠征に約700万円かかる。 ・大会開催のたびに、IPC規定を満たすための会場仕様変更の費用が数百万単位でかかる。 ・体験会を実施しているがなかなか新人選手が集まらない。 	東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4F(パラサポ内) 080-8861-5376	http://sledgejapan.org/ パラアイスホッケー
7	一般社団法人日本車椅子ソフトボール協会	<ul style="list-style-type: none"> ・大会運営や普及活動にかかる費用をまかなえる金銭的な支援。運営に活用となると10万円程度の額以上が一番有効に活用できる。 ・協会を運営していく資金と人員の不足 	北海道札幌市北区北24条西14丁目7-11飛島様方 090-7642-6510	http://www.jwsa.jpn.com/ 車椅子ソフト
8	特定非営利活動法人日本車いすフェンシング協会	<ul style="list-style-type: none"> ・京都が拠点なので京都の企業から支援を頂きたい ・ヘッドコーチの人件費捻出が大きな課題であり、元金メダリストに対してのスポンサーシップを希望。 ・車いすを固定する装置(ピスト、一セット約120万円)など競技に必要な機材(審判器や競技用車いす:50万円前後)、フェンシング用品一式(20万円～)などへの支援 ・実務担当が二人のみ。 ・財政基盤強化を担当できる人材が全くおらず、元金メダリストをヘッドコーチに招聘したが、その給料捻出にも苦戦している。 	京都市左京区下鴨高木町23 075-781-1676	http://jwfa.jimdo.com/ 車いすフェンシング
9	(一社)日本車椅子ハンドボール連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・競技用車椅子の提供、支援(1台25万×20台=500万) ・各地区、普及振興のため体験会、デモンストレーション実施のための費用援助(全国10地区、300万) ・全国大会の開催における費用捻出 ・普及・振興のための(認知度を高める必要)体験会の開催、パンフ、ルールブックの印刷 ・ホームページの充実、タイムリーなニュース発信 ・海外チームの招請と交流のための費用捻出 	埼玉県久喜市久喜北2-22-18 090-1683-1215	http://jwhf.jp/ 車椅子ハンドボール
10	(一社)日本車いすカーリング協会	<ul style="list-style-type: none"> ・活動資金、ユニフォーム、翻訳サービス、移動時の輸送、競技用具開発。1回の海外遠征で1チームが移動した場合の総経費は250万~300万。ピンバッチやペナントを100個用意するなど少額でも必ず支出するものも多く、金額に関わらず使途がある。 ・人材不足。有給職員を雇う余裕がない。 ・積極的な広報と配信。 	東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4F(パラサポ内) 090-9268-3148	http://jwh-curling.org/ 車いすカーリング

障害者スポーツ団体ニーズ調査結果(団体別)

番号	団体名	ニーズ・団体運営課題概要	所在地 連絡先(代表者等)	URL 検索キーワード
11	特定非営利活動法人日本車いすダンススポーツ連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局運営必要経費→年間1100万円 ・一社からの資金援助ではなく小口でも1000万円程集まれば運営が可能。 ・手弁当団体なので事務方レベルでの対応に苦慮 ・障がい者からの会員費や諸々の経費を実費として請求することに限界があるので、強化選手として経済的にも社会的にもある程度裕福な障がい者しかスポーツのステータスを味わえないのが現状 ・22競技以外の団体はいつ消えゆくかわからない状況 ・スポンサー寄付など厳しい状況下に置かれている。 ・JOC、JPC正式種目以外のマイナースポーツ団体に光を当てて欲しい。 ・当連盟が取り組んでいる「特別支援学校」での「重度障がい者」への普及活動への支援 	東京都大田区山王2-1-6 キャビック本社ビル801 03-3774-2277	http://jwdsf.official.jp/ 車いすダンス
12	一般社団法人日本ウィルチェアラグビー連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツに対する社会の理解促進・認知度向上 ・環境整備 ・障害者スポーツ大会やイベントの推進・選手発掘育成・マネージメントをできる人材の出向(事務局要員を含む) ・事務局要員・大会運営要員の不足 ・有能新人の発掘 ・1週間程度利用可能な強化合宿の会場(使用しやすい宿泊施設を含む)が関東近辺にない ・大会(国際大会含む)・イベントの開催 	東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4F(パラサポ内) 03-6229-5431	http://jwrugby.com/ ウィルチェアラグビー
13	一般社団法人日本パラバレーボール協会	<ul style="list-style-type: none"> ・活動場所・宿泊先・食事場所 ・競技シューズ・大会のユニフォーム(年間30万～100万円) ・人材不足 ・数多くの依頼に対する対応(学校・自治体・民間企業等) 	東京都台東区東上野3-28-4 上野スカイハイツ204 03-6806-0468	http://www.jsva.info/ パラバレー
14	一般社団法人日本車いすテニス協会	<ul style="list-style-type: none"> ・強化指定選手以外の強化を行なうための遠征費と合宿の開催費 ・普及に伴う各地での練習の際のコート代、コーチの謝金 ・大会開催援助 ・コーチ、トレーナーが少なく、海外遠征の帯同をまかなえていない状況。専任コーチ・専任トレーナーを増やすこと。 ・練習場・大会等のコートの確保・提供 ・障がい者スポーツの広報 	熊本県荒尾市緑ヶ丘2-5 プラネスト緑ヶ丘205 080-4275-2775	http://jwta.jp/ 車いすテニス
15	認定NPO法人ローンボウルズ日本	<ul style="list-style-type: none"> ・海外大会への派遣費用協力 ・普及活動費への協力 ・体験教室の開催への協力 	兵庫県神戸市北区ひよどり台2-31-20 078-743-6790(事務所) 090-3625-5985(携帯)	http://bowls.jp/ ローンボウルズ

障害者スポーツ団体ニーズ調査結果(団体別)

番号	団体名	ニーズ・団体運営課題概要	所在地 連絡先(代表者等)	URL 検索キーワード
16	一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会	<ul style="list-style-type: none"> 選手移動などの人的支援(練習場や大会等イベント開催地への移動) 競技に関わる人的支援(練習・大会準備など競技を支えるスタッフ、審判員など) 金銭的な支援(競技備品購入・大会開催費・海外遠征費用など) 資金不足 運営・マネージメントなどの人材不足(会計業務作業、助成金申請作業及び報告書作成を行う人材、ホームページの管理・運用を行える専門的な知識を持った人材、寄付・協賛金などを募る専門的な知識と行動できる人材など) 	東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビル6F 03-3402-3600	http://www.web-jpfa.jp/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">車椅子サッカー</div>
17	特定非営利法人日本車椅子ビリヤード協会	<ul style="list-style-type: none"> 会員、サポーターの年会費でまかなっている。 ビリヤード競技自体の普及が第一の課題。 広告、テレビ・ラジオの番組等、継続した宣伝 	埼玉県北足立郡伊奈町大字小室9638-1 048-723-6502	http://www.jwba.jp/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">車椅子ビリヤード</div>
18	特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟	<ul style="list-style-type: none"> 支援を行っていただける企業を探しているが、まったく、見つからない状態 新人の海外遠征費用、競技会開催費用、コーチに係る費用などが不足している状況 	東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4F(パラサポ内) 03-6229-5423	http://jppf.jp/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">パラパワーリフティング</div>
19	認定特定非営利活動法人 日本ブラインドマラソン協会	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ不足(庶務・広報・会計・強化)への人的支援(有給派遣等) 協会事業や協会運営への協賛金、寄付金(小口でも長期支援が約束される協賛寄付を希望) 競技力の高い伴走者の支援 大会運営の支援(運営、広報、ボランティア動員) 各種(庶務・広報・国際渉外などを担当)人材の不足 専門的スキルを兼ね備えた人材確保 	東京都文京区本郷2-9-8 本郷朝風ビル5F 03-3814-3229	http://jbma.or.jp/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ブラインドマラソン</div>
20	日本ブラインドテニス連盟	<ul style="list-style-type: none"> 大会会場の無料貸し出し(企業の体育館) 大会で使用するボール代の補助 8万円程度 ラケット、ウェア等の無償提供 会計スタッフの派遣 大会費用の捻出にあたり選手の負担が大きい 連盟運営業務が一部の個人に集中 	兵庫県神戸市灘区備後町4-1 ウェルブ六甲道 3番街 2番館 201 090-7257-3279 080-5335-5797	http://jbtfn.jp.org/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ブラインドテニス</div>

障害者スポーツ団体ニーズ調査結果(団体別)

番号	団体名	ニーズ・団体運営課題概要	所在地 連絡先(代表者等)	URL 検索キーワード
21	特定非営利活動法人 日本視覚障害ゴルフアース協会	<ul style="list-style-type: none"> ・企業、寄付金等の賛助会費が協会運営の自由度を高めるのに必須。1ロー万円でも賛助件数が多ければ視覚障害ゴルフの社会への認知度が高まる。障害者スポーツ団体には小口でも援助、寄付をお願いできる環境を整えてほしい。 ・事務作業に晴眼者が必要だが人材がとてもなく、かつ特定の晴眼者役員やスタッフに仕事が集まる ・収入の少ない障害者の会費を上げることは困難 	東京都武蔵野市境南町 4-12-18 0422-32-1466	http://vig-jp.com/ 視覚障害者ゴルフアース
22	一般社団法人日本ゴールボール協会	<ul style="list-style-type: none"> ・大会事業や普及・育成事業などへの運営資金 ・国際審判員の資格取得ならびに資格維持のための資金 ・一大会概ね100万円もあれば最低限運営可能 ・普及等の事業は一開催50万円もあれば実施可能 ・金額の多少というよりも、活用できる資金を運用する上で、その運用の柔軟性が大切 ・人的な面での課題。全ての関係者が本業を抱えており、団体活動そのものがほぼ奉仕。 ・協会事務局の専従職員や専門的に経理実務を担える職員がいない。 ・専任コーチなど強化や育成を担当するスタッフの雇用ができない ・遠征などに帯同・派遣するスタッフの確保が厳しい(職場が派遣に際して、理解してくれない等) 	東京都足立区綾瀬4-22-10 スカイドミール近藤 103 03-5849-3982	http://www.jgba.jp/ ゴールボール
23	特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭的支援(国際大会・国内大会・ジュニアやジュニアユース世代のスポーツプログラム・健常者向け体験学習・ユニバーサルな観戦環境整備等) ・サービス、サプライによる支援 ・企業研修導入による支援 ・出向者もしくはボランティアによる人的支援 ・業務提携 ・広告宣伝媒体での活用による認知啓発支援 ・企業のニーズや要望に応えられ、調整ができる人材の不足 	東京都新宿区百人町2-21-27 ペアーズビル3F 03-6908-8907	http://www.b-soccer.jp/ ブラサカ
24	一般社団法人日本視覚障害者ボウリング協会	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容:協会の組織を運営するための費用、選手の日々の練習費用、会計処理などの事務作業の人的費用。 ・支援規模:5万円程度からでも複数集まるとありがたい。 ・支援用途:WEBの管理、役員・事務員の旅費、選手の練習費、会計等の人的費用。 ・専従職員がおらず、フルタイムの本業がある者を中心に事務作業をおこなっていること。 ・年々提出書類が複雑になり、また分量も増えているため、処理する時間が追いつかないこと。 ・WEBの管理などについて時間がさけず、後回しになってしまうこと。 ・余力が無く、新しい選手を発掘するような活動があまりできないこと。 ・パラスポーツ以外でも、障害者のある人々が実施しているスポーツは数多くあり、積極的な広報活動や、CMへの登用、紹介番組の製作などに対する支援。 	東京都文京区小石川2-24-5-201 03-3818-3009	http://www.bbcj.org/ BBCJ
25	日本視覚障害者卓球連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会において各地から審判員を募っているが、交通費など謝礼以外は審判員の負担のため、定数の確保に四苦八苦。旅費か宿泊費かでも支給できるとよい ・競技者拡大のために競技の体験や説明の場が設けられるよう、その指導者育成、継続のための支援があるとよい→1開催・1回あたり10万円程度でも助かる ・講習・研修の場が不十分で、競技者育成強化、指導者の育成、審判のスキルアップの機会をあまり作れていない。 	北海道札幌市西区八軒 三条西2-3-20 ホワイト ハウス2F-D 090-3390-5314	http://jatvi.com/ 視覚障害者卓球

障害者スポーツ団体ニーズ調査結果(団体別)

番号	団体名	ニーズ・団体運営課題概要	所在地 連絡先(代表者等)	URL 検索キーワード
26	一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・活動資金 ・「全国ろうあ者体育大会」の開催、アジア太平洋ろう者スポーツ大会やデフリンピックへの参加のための資金の調達に苦慮。 ・会場借用の減免や優遇措置 	東京都新宿区山吹町130 SKビル8F 03-3268-8847	http://www.jfd.or.jp/sc/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ろうあ連盟 スポーツ</div>
27	特定非営利活動法人 日本聴覚障がい者ラグビーフットボール連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・遠征や国際戦への支援 ・普及活動にも支援が必要 	東京都港区西麻布2-24-17 海老根様方 03-3407-3589	http://deaf-rugby.or.jp/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">聴覚ラグビー</div>
28	(一社)日本ろう武道連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・デフリンピックに参加する為にかかる費用(旅費など)の軽減 ・障害児に対して武道教室を開催する為にかかる費用 ・スタッフへの手当 ・報告書作成などに使用するパソコンは個人の物 ・会場や広告などの無料提供 	神奈川県横浜市保土ヶ谷区上菅田町724-26 jpn.deaf.budou@gmail.com	http://www.jmafd.com/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ろう武道</div>
29	(一社)日本ろう自転車競技協会	<ul style="list-style-type: none"> ・競技で使用する機材のサポート ・スタッフの人材不足及び経験不足 ・デフリンピックのPR 	東京都葛飾区亀有2-69-9- I - 403 宮田様方 jdca2010@yahoo.co.jp	http://jdca.spo-sta.com/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ろう自転車</div>
30	一般社団法人日本ろう者サッカー協会	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金対象外となる飲料、テーピングテープなどケア用品の支援 ・活動場所や宿泊施設に関して先行予約が可能となるなどの支援 ・会員数の確保 ・資金の確保 ・団体運営人員の確保 ・デフリンピックのPR 	東京都品川区南大井4-6-5 jdfa.office@gmail.com	http://jdfa.jp/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">デフサッカー</div>

障害者スポーツ団体ニーズ調査結果(団体別)

番号	団体名 (競技の特徴)	ニーズ・団体運営課題概要	所在地 連絡先(代表者等)	URL 検索キーワード
31	一般社団法人日本ろう者スキー協会 アルペンスキーチーム	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年東京パラリンピックに向けてCM等で宣伝しているが、デフリンピックも併せて宣伝してほしい ・用具(例:スキー板、スキーブーツ等)やその購入費用を少しでも寄付してほしい ・海外派遣にかかる費用(1回一名100万円) ・学校や会社に在籍する聴覚障害者でも強化選手として派遣しやすいよう、特別休暇を取得できる取組 ・事務所が自宅、専任の事務担当もいなく、無報酬 ・手話のできる聴覚障害者専門のマネージメントやエージェントが必要 ・聴覚障害者スポーツ大会をニュース等でアピールしてほしい 	東京都日野市平山2-32-12 haji_h@japandefski.com	http://japandefski.jp/ ろう者スキー
	一般社団法人日本ろう者スキー協会 アルペンスノーボードチーム	<ul style="list-style-type: none"> ・デフリンピックの存在をマスコミを通してPR ・デフリンピック派遣費用の一部助成。選手派遣費用の1/3(一人当たり約20~30万円)ならびにスタッフ派遣費用の全額助成(一人当たり約60~90万円) ・冬季デフリンピック派遣費用の捻出。公費で派遣が認められるスタッフの数が少なすぎる。 		
	一般社団法人日本ろう者スキー協会 スノーボードフリースタイルチーム	<ul style="list-style-type: none"> ・金額の大小は関係なく、選手が少しでもサポートをしてもらう事で自己負担額が少なくなり、活動がしやすくなる。一口10万円程度でも大きな支援になり得る。 ・スポーツに関連性のある企業からの支援があると選手の負担も軽減される。例えば、食品メーカー・スポーツメーカー・サポーターメーカー・トレーニング施設など。 ・コーチへの謝礼金支援(コーチング代は全て選手負担) ・マスコミを通じたデフリンピックのPR ・デフリンピック派遣費用の一部助成。選手派遣費用の1/3(一人当たり約20~30万円)ならびにスタッフ派遣費用の全額助成(一人当たり約60~90万円) 		
32	一般社団法人日本デフバレーボール協会	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭支援:1千万円(代表チーム毎年の海外遠征費用(男子・女子・ビーチ合計50人×@30万円×1/2)、NF事務所運営経費(家賃・職員賃金250万円/年)) ・イベント運営会社とのマッチング(大会開催の運営サポート、人材と運営ノウハウの提供) ・国際ルールにより障がい者が組織運営を行う必要があるが、必要な知識(税務、法務、事務、マネジメント等)を習得しているものは少なく、ボランティアとして多くの時間を事務や作業に費やし、その責任も重いため、役員のなり手がほとんどいない。 ・一方、健聴者の役員を増やす場合、デフ役員とのコミュニケーションギャップにより組織運営がまとまらないケースがある。聴覚障がい者の特性を理解し、ある程度手話ができてスポーツ知識やスポーツマネジメントに明るい人材が理想であるが、そのような人材がなかなか見つからない。 ・国際大会派遣費や強化合宿費用の支払いのため、年度当初から助成金入金時期(4月~8月)に、恒常的に1千万円ほど不足する厳しい経営環境にあり、役員・選手の立替や自己負担によりカバーしている。 ・2017年に開催されるデフリンピックについての、国・地方公共団体からの積極的な情報発信 	東京都大田区西糀谷 3-18-14 takata-jdva@nifty.com	http://www.jdva.jp/ デフバレー

障害者スポーツ団体ニーズ調査結果(団体別)

番号	団体名	ニーズ・団体運営課題概要	所在地 連絡先(代表者等)	URL 検索キーワード
33	一般社団法人日本ろう者水泳協会	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所の家賃、光熱費、税理士の報酬、ホームページの管理費、加盟金、理事の旅費など、約200万円 ・会員数が少なく、会費だけでは運営は困難 	京都府京都市中京区西ノ京樋ノ口町118ネオブルーム202 info@deaf-swim.com	http://www.deafswim.or.jp/ <input type="text" value="ろう者水泳"/>
34	特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員雇用や普及活動費などに自由に使える資金。年間1,000万円あれば2名を雇用したうえで普及活動費と強化費の不足分を賄える。 ・全てのスタッフが本業を持ったボランティアなので、空いた時間でしか活動が出来ない。 	東京都練馬区光が丘2-7-3-1215 03-5213-4728 info@jffid.com	http://jffid.com/ <input type="text" value="JFFID"/>
35	一般社団法人日本知的障害者水泳連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・国際大会遠征時の遠征費(1人20~25万円程度自己負担している) ・物品提供(水着、ジャージ、サプリメント、遠征時アルファ米、用具等) ・知的障害者の場合、合宿・遠征時の送迎に必ず保護者等の付き添いが必須であり、交通費・宿泊費が毎回2人分かかる。 ・プール等の会場の確保 ・コーチの育成に力を入れたいが費用面、機会ともに苦慮 ・パラスポーツ普及・理解の推進 ・選手およびコーチへの財政的支援(選手への支援はあっても、コーチへの支援はほとんどない) 	東京都江東区東陽2-2-15 東京YMCA社会体育・保育専門学校内 03-6229-5425	http://jsfpid.com/ <input type="text" value="JSFPID"/>
36	一般社団法人日本FIDバスケットボール連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・練習場所の確保 ・選手の就労 ・事務局スタッフの人材不足(連盟役員の大半が教員) ・活動資金不足(役員が自己負担しながら活動) 	神奈川県横浜市中区本牧原11-1 ベイサイト本牧Ⅱ807 小川様方 090-9158-0881	http://www.sportsmanship.com/jbf-fid/ <input type="text" value="JBF-FID"/>

障害者スポーツ団体ニーズ調査結果(団体別)

番号	団体名	ニーズ・団体運営課題概要	所在地 連絡先(代表者等)	URL 検索キーワード
37	公益財団法人スペシャルオリンピックス日本	<ul style="list-style-type: none"> ・支援金(年間契約を結ぶオフィシャルスポンサーの規模(物的支援も含む)を期待) ・社員のボランティア参加 ・企業の発信力を活用した認知拡大のための広報 ・安定的な財源の基盤 ・活動を知ってもらいムーブメントを拡大するための知名度向上 ・組織力の強化 ・全国大会開催への資金的支援(運営資金の他、各種施設利用への減免措置) ・各種事業への助成 ・運営全般(本部及び47都道府県の支部)への支援 ・将来的に世界大会を招致する場合の人的・資金的支援 ・全国大会開催時の人材派遣 	東京都港区西新橋2-22-1 西新橋2丁目森ビル7階 03-6809-2034	http://www.son.or.jp/ <input type="text" value="son"/>
38	公益社団法人日本精神保健福祉連盟 精神障害者スポーツ推進委員会	運営基盤である会員の増加と経済基盤	東京都港区芝浦3-15-14 公益社団法人日本精神保健福祉連盟内 03-5232-3308	http://www.f-renmei.or.jp/ <input type="text" value="精神保健福祉連盟"/>
39	特定非営利活動法人日本ソーシャルフットボール協会	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的なスポンサーシップ、協賛金 ・協会を運営するための専門的な知識を持っている者が少ない 	東京都北区豊島7-20-7 クレアホームズ王子神谷304号 070-5376-4124	http://jsfa-official.jp/ <input type="text" value="JSFA"/>
40	特定非営利活動法人日本知的障がい者陸上競技連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・選手が国際大会に出場するための渡航費などを自己負担せざるを得ない状態で、力があっても経済的な理由で不可能な選手も多いので、企業に支援いただけたらありがたい。 ・スタッフの大半が特別支援学校の教員であり、強化合宿や国際大会へのスタッフの派遣について、学校側の理解が得られなければ、スタッフが参加することができないため、派遣に苦慮している。 ・2020東京パラリンピックまでに自立した運営ができるよう財政面での安定を図らねばならないが、非常に厳しい。将来も安定的に専任の事務職員を採用できるようにすることが課題。 	千葉県山武市上横地268-10 080-4429-1672	http://www.jidaf.org/ <input type="text" value="知的障がい者陸上"/>
41	特定非営利活動法人 日本障害者セーリング協会	ヨットの維持費、整備、上下架代、遠征費等で毎年最低でも500万円以上の費用、通常練習でも1回につき数十万単位の費用がかかる。100万円単位のスポンサーシップや協賛金がなければ強化は困難	東京都葛飾区金町6-13-1長塚ビル303 03-3627-8989	http://parasport-sailing.jp/ <input type="text" value="障害者セーリング"/>

障害者スポーツ団体ニーズ調査結果(団体別)

番号	団体名	ニーズ・団体運営課題概要	所在地 連絡先(代表者等)	URL 検索キーワード
42	一般社団法人日本障害者カヌー協会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数200名、年会費2000円で運営 ・1艇が20万を超える。艇と用具の提供、それを購入するための資金がまず第一に必要。 	東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4F(パラサポ内) 03-6229-5440	http://www.japan-paracha.org/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">障害者カヌー</div>
43	日本障害者シンクロナイズドスイミング協会	<ul style="list-style-type: none"> ・練習場所としてプール借用(全面使用。費用の少額化または無料での提供) ・海外遠征への費用補助 ・理事会・競技大会等の交通費補助の捻出 ・場所の確保(プール)をしやすいような支援や紹介 ・公共団体または民間からの遠征費の補助 	京都府京都市左京区高野玉岡町5 京都市障害者スポーツセンター気付 075-702-3370	http://www.eonet.ne.jp/~wa-o-synchro/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">障害者シンクロ協会</div>
44	日本障害者フライングディスク連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費・賃借料等の固定経費の支援を年間1,200万円位 ・現状は100%ボランティアによる業務であり、専従者の確保が肝要 ・競技種目別の指導者の養成 ・障害者スポーツ大会・イベントの場所の確保 	東京都台東区日本堤2-32-8 いづかビル 03-3847-8522	http://www.jffd.jp/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">JFFD</div>
45	一般社団法人全日本テコンドー協会	<ul style="list-style-type: none"> ・アスナビのような支援が、選手のみならず、強化コーチや事務局員などのスタッフに対してもあるといい。(長期の大会派遣や合宿帯同などにも職場に理解が得られる) ・人手不足。東京2020パラリンピックに向けて、選手発掘事業参加、パラスポーツ普及啓発イベント参加、研修会や講習会参加、取材などのメディア対応などがこれから増えていくことを考えると、障害者部門に関わる人を増やすことが必要 ・メディアに露出することが最も重要 	東京都渋谷区1-1-1 岸記念体育館会館内 03-3481-2732	http://www.ajta.or.jp/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">テコンドー協会</div>
46	一般社団法人日本スポーツ吹矢協会	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を切り口とした企業からの支援や商品の提供 ・賛助会員として金額的には少額でもあっても、多くの企業と相互メリットの関係の構築 ・財政面が安定していないこと 	東京都中央区銀座3-10-9 KEC銀座ビル9F 03-3543-1071	https://www.fukiya.net/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">スポーツ吹矢</div>

障害者スポーツ団体ニーズ調査結果(団体別)

番号	団体名	ニーズ・団体運営課題概要	所在地 連絡先(代表者等)	URL 検索キーワード
47	公益社団法人日本トリアスロン連合	<ul style="list-style-type: none"> ・支援規模はトップアスリート支援に相応しい金額が必要 ・支援企業がNFの持つ権利(プロパティ)を活用したり、一緒に新しいシステムや機器を開発したりする関係を築き、強化と普及、地域への貢献に価値を見出してもらえることが重要 	東京都渋谷区渋谷1-3-8 第二栄来ビル6F 03-5469-5401	http://www.jtu.or.jp/ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">トリアスロン</div>
48	日本卓球バレー連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会を実施したいと考えている。 ・卓球バレーの全国への普及活動が中断し途切れないよう「2017卓球バレー全国交流大会」を計画しており、300万円超の経費が必要であることから、今後補助金を申請。 ・日本卓球バレー連盟は法人格を持たず、また常駐職員や事務員もおらず、役員全員本来の仕事の合間に活動しているまったくのボランティアの団体で、全国への普及活動も少しずつしか動けないのが実情。 ・卓球バレーは京都で発祥し全国に広がりつつあるが、普及率は未だ発展途上。障害の程度や子どもから高齢者がハンディを感じることなくプレーすることが出来るユニバーサルスポーツであることを国や地方公共団体にも認識されて、普及啓発していただけたらありがたい。 	京都府京都市左京区北白川伊織町4-3 長谷川様方 takkyu.volley@jcom.zaq.ne.jp 075-706-1911	

障害者スポーツ団体 事務所所在地(所在地が東京以外の団体)

